

● 内政

1 保健大臣、医薬品管理に関し職員に警告

ムチマ保健大臣は、ザンビア医薬品・医療用品庁で会見し、同庁の医薬品供給管理の甘さを糾弾した。かねてよりザンビアでの医療用品供給の不正な横流しなどが課題と言われる中、保健大臣は同庁の理事会総刷新などで対策したが、いまだ同事象が継続していることを踏まえ、同庁に対して警告を実施した。輸送トラックの位置情報管理などの手法刷新なども含め、ドナー国への説明責任も考慮した上での徹底した対策を求めている。（当館注：医薬品の寄付はエジプトが多く実施している。）（10月5日付 News Diggers）

2 2023年度の監査報告書を公表

監査総監は、2023年度の監査報告書を公表した。不適切な会計処理は総額でこそ2022年度の約1,035億クワチャ（約6,000億円）から約815億クワチャへ減少したものの、これは滞納税の回収率向上が主たる要因であり、不正行為の減少などが大きな要因ではなく、監査総監は政府組織の規律向上に向けた、速効性のある対策を求めている。（10月9日付 News Diggers）

3 国民健康保険管理局、450万人の国民が登録済と公表

国民健康管理局は、2020年から制度が開始した国民健康保険制度について、ザンビア国民の加入者数が450万人に到達したと発表した。2026年までに1,700万人の加入を目指す同局は、同サービスを農村部まで拡大させ、医療診断キットの配布なども計画している。他方で急速な会員拡大に伴い給付請求が増大しており、一部給付パッケージの見直しなども計画されている。なお、加入者の内訳は約30%が正規労働者、約50%が非正規労働者、約20%が高齢者・退職者・社会的弱者（無料）である。（10月11日付

News Diggers）

4 監査総監、中国企業の道路監視システム利用を批判

項2で触れた監査報告書において、中国企業ZTEが本来有すべきでないシステム利用権限などを保持していると確認された。内務・国内治安省との機材引渡しおよび管制訓練が完了しているにもかかわらず中国側がネットワーク、アプリケーション、DBシステムを含むITインフラの技術的管理を継続しているとし、省庁側の監理体制の甘さを非難した。同時に、2023年12月から一部地域で開始しているスピード違反の自動取締まりについて、法律上の個人情報の取扱いの裏付けがされておらず、ザンビア警察の取締まりが法令に違反していると指摘した。（10月11日付 News Diggers）

5 難民委員会委員長、不法入国幫助の容疑で告発

難民委員会の委員長は、コンゴ民主共和国の反政府勢力から賄賂を受領し、難民申請者として取り扱ったとして起訴された。同委員長は9月17日に難民委員会事務局へ強制捜査が入ったことにより嫌疑が固まり、今回告発されたとされている。（10月12日付 News Diggers）

6 政府、9月の政府支出を説明

財務・国家計画省は、2024年9月に158億クワチャ（約900億円）の政府支出を実施したと表明した。そのうち41億クワチャが国内・対外債務及び延滞金の返済に充てられ、43億クワチャが公務員の給与に充てられた。債務の内訳は33億クワチャが国内債務、3.8億クワチャが対外債務、4.6億クワチャが延滞金となる。（10月14日付 News Diggers）

7 副大統領、ラニーニャ現象による洪水被害を警告

ナルマンゴ副大統領は、ラニーニャ現象の発生により今年のザンビアは例年並みか例年以上の降雨が予想されるため、洪水被害に注意するよう国民に呼びかけた。また、政府としても災害レジリエンスを高める取組を進めると表明した。(10月16日付 News Diggers)

8 大統領、憲法裁判所判事3名を解任

ヒチレマ大統領は、司法苦情委員会(JCC)の申立に従い、憲法裁判所判事3名を解任した。3名についてはJCCからの申立として、重大な職務怠慢が指摘されていた。(10月21日付 News Diggers)

● 外交・対外関係

1 EU、ザンビアへの財政支援を再開

EUは、約10年前に停止していたザンビアへの直接的財政支援を再開した。2021年に政権交代が実現したことによりガバナンス強化などの改革が実施されてきたため再開したもの。総額6,000万ユーロに及ぶ財政支援は融資ではなく寄付であることが明確化された。本来財政支援は2025年に再開予定であったが干ばつ対応などのために繰り上げて実施され、今後も継続して財政支援が実施される見込み。(10月2日付 News Diggers)

2 政府、スーダンの混迷について懸念を表明

10月23日、外務・国際協力省はプレスリリースを発出し、2023年4月から続くスーダンの混迷に懸念を表し、AU議長による声明に賛意を表した。同時に、国際社会に対し、スーダンの混迷解決に向け、協力を呼びかけた。(10月22日付 外務・国際協力省プレスリリース)

3 大統領、外交官のパフォーマンスに苦言

10月23日、ヒチレマ大統領は新任大使に対する任命式の場で、各国に派遣されている外交官に対し苦言を呈した。モラル面での改善を求めると共に、ザンビアに対する投融資プロジェクトを進めることが各大使館の任務であり、パフォーマンスが足りないと思われる者について、更迭を検討する旨の発言もあった。(10月25日付 News Diggers)

4 大統領、東南部アフリカ市場共同体サミットへ参加

10月31日、ヒチレマ大統領はブルンジで開催された東南部アフリカ市場共同体(COMESA)サミットへ参加した。サミットでは「気候変動に強い農業、鉱業、観光における地域バリューチェーンの開発を通じた地域統合の加速」をテーマに議論が交わされるとともに、COMESA域内での貿易拡大に向けた方策が議論された。また、ザンビアが務めていたCOMESA議長国について、ブルンジに引き継がれた。(10月31日付 大統領 Facebook)

5 大統領、ボツワナ総選挙で勝利したボコ新大統領へ祝意を表明

10月31日、ヒチレマ大統領はボツワナで実施された総選挙で勝利したボコ新大統領に祝意を表した。また、マシシ前大統領が敗北を潔く認め、政権意向が円滑に進むことを賞賛し、国民及び民主主義の勝利であると表した。(10月31日付 大統領 Facebook)

(了)